

長善館 友の会 報

令和2年3月31日
第3号

ご挨拶



友の会会長

小原 秀一

長善館友の会は、平成二十九年九月に発足し、三年目を迎えました。この間、会員数は二百名を超え、ようやく会の活動も軌道に乗ってきました。年に一回の研修視察旅行、長善館ゆかりの先人の業績を学ぶ学習会などを行ってきました。

今年度は、昨年の十一月の天候に恵まれる中、大河津分水の「夕ぐれの丘」や野積の「西生寺」、寺泊や与板の良寛ゆかりの地を日帰りで廻る視察研修を行いました。三十名近くの参加者がありました。また、十二月には、長善館史料

館で、「長善館収蔵資料解説学習会」を行い、鈴木虎雄博士の文化勲章受章の時に詠んだ漢詩二首を横山館長のわかりやすい解説で学びました。漢詩などよく分からないものでも、興味を持つことができました。これも、二十数名の参加者がありました。

次年度も、多くの会員の皆様に地味ながらもよりよい活動を企画いたしますので、是非たくさんの方々の入会をお待ちしております。今後も会員相互の連携を深めると共に長善館史料館の発信にも積極的に関わっていききたいと思えます。

長善館史料館収蔵資料

解説学習会

長善館友の会では、令和元年十二月七日(土)に収蔵資料解説学習会を開催しました。

饌後別房を賜り菓茶を賜る

辛丑(昭和三十六年)

文化節 鈴木虎雄

〈訳〉

今回は、長善館出身者で元京都大学教授鈴木虎雄博士の漢詩の掛軸を取り上げました。

鈴木虎雄博士は昭和三十六年に漢文学研究の功績で文化勲章を受章されました。受章時の思いを詠んだ漢詩二首について、解説を加えながら参加者全員で鑑賞しました。

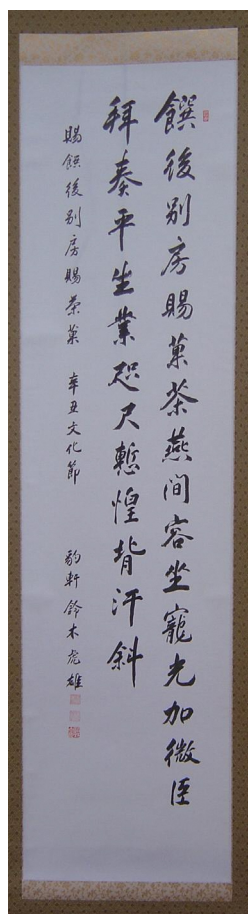
ごちそうをいただいたあと別の部屋でお菓子とお茶をいただきました。くつろいでいる間に(天皇陛下から)向かい合って話をする機会をいただき、特に深いお心遣いで声をかけてくださいました。仕える身の自分は普段の仕事(学問研究)のことを謹んで申し上げました。(その時の私は)陛下のすぐ側で、背中の汗も普通とは違うほどでした。

昭和三十六年 文化の日

鈴木虎雄

読み

饌後別房に菓茶を賜る
燕間坐を容れ寵光加わる
微臣拝奏す平生の業
咫尺慙惶背汗斜なり



読み

白花五辨自から紋を成す

碧葉繁り生え鬱として雲の如し

嘗つて姻臣を賞して親しく姓を賜う

今功績に由りて文勲を表す

右橘花を詠ず

昭和壬寅(昭和三十七年)生日

豹軒老人

〈訳〉

橘の五弁の花びらは、自然と古く

からある家の紋章を形作っている。

緑の葉が生い茂り、(その姿

は)こんもりとして、まるで雲が

盛んにわき出ているかのようである。

昔、姻戚関係にある臣下の人

の(功労)をほめ称えて(天皇が)

じかに橘の姓をお与えになった。

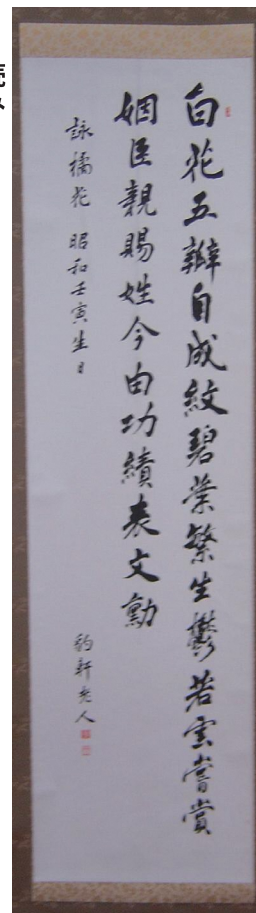
今は功績によって、文化に対する

勲功を表彰する記事になっている。

右橘花を詠む

昭和三十七年の誕生日

豹軒老人



〈視察研修〉

良寛さまの心にふれて

長善館友の会 樋口 正成



令和元年十一月十七日(土)長善館友の会二十六名は、鮮良亮一さん手作りの視察先案内冊子を片手に出発。午前中前半は「夕ぐれの岡」「西生寺」「密蔵院」と仮り住まいされた寺泊コース。後半では「新木家跡」「徳昌寺」「松下庵跡」「楽山亭」と父以南が生まれ、弟由之と親交を深められた与板コースを視察しました。その中で



心動かされた出来事に絞って書いてみます。

西生寺、密蔵院の高台からは日本海と佐渡が一望でき、佐渡は母の出身地ということをお聞きし、母への思慕の念から寺泊の地を仮寓先にえらんだのかと勝手に思いながら広大な自然をしばらく眺めてみました。

西生寺では、ご住職の案内で境

内をめぐり、何よりも弘智法印の即身仏との出会いである。「がまんして生きるとその人はまわりから菩薩に見える」を体現された方と説明を受け、お経に合わせてお参りし、線香をあげたことは誠に貴重な体験となりました。



与板コースは豪商三輪家の別荘「楽山亭」である。特に六代目当主の娘が夫に死別後三輪家に戻り出家して「維馨尼」と名乗り、經典を購入すべく単身江戸に向けて托鉢に旅立つことを知った良寛さまが彼女に送った手紙の碑が建てられてある。六歳年下の美しい教養のある女性に叶わぬ身の上で

ありながら淡い恋ごころをいだいたのではというエピソードは、あらためて良寛さまに人間味ある心のあたたかさと親しみを感じました。

そして昼食は楽山亭の真下にある「久廻弥」の広間で、店主と鮮良さんメンバーが試行錯誤して誕生させた「良寛いつわめし」という名の弁当で中身も絶品で談笑しながらおいしくいただきました。昼食後「いしぶみの里公園」で地域の還暦を迎えられた方々から寄贈された立派な歌碑十八基をめぐり帰路についた。



このたび企画されたみなさまに感謝申し上げ次回に期待しながらとじさせていただきます。

館内の展示室を リニューアルしました

長善館史料館では、このたび館内の第一展示室から第二、第三展示室のリニューアルを行い、より見やすくしました。

第一展示室を常設展示にして、歴代館主の人物の紹介や教育観、特色ある教育内容・方法等について具体的に解説しています。

また、卒業した門人たちのコーナーでは、社会に貢献した業績内容や活躍ぶりをわかりやすく説明しています。第二展示室は、文化勲章を受章した鈴木虎雄博士の業績や遺墨、遺品などを展示しています。第三展示室では、企画展を行い、門人たちやゆかりのある人たちの詩画幅などを展示して、来館者の興味関心を深めてもらう内容になっています。また、館内を紹介するDVD（燕市教育委員会制作）も設置されていますので、参考としてご覧いただけます。多くの皆様のご来館をお待ちしています。



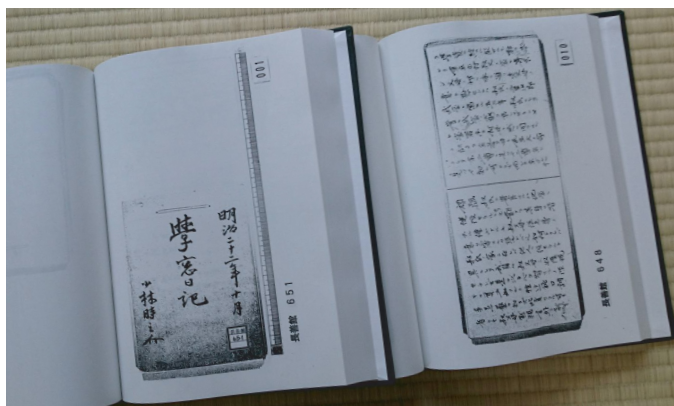
長善館史料館展示紹介

鈴木虎雄博士が1878（明治11）年に生まれて、今年は生誕142年目です。

文化勲章を受章した鈴木虎雄博士の遺墨や遺品などを展示し、皆様の来館をお待ちしております。また、常設展示の他に定期的に企画展示も行っておりますので、ぜひご覧下さい。

長善館歴代館主の日記が閲覧可能に

新潟県立文書館に保存されている、長善館歴代館主の日記（複製）が長善館史料館内で閲覧が可能です。これは、燕市が筑波大学の中野目徹教授に委託している「歴代館主日記解読業務」（4年間継続）事業により実現したものです。閲覧ご希望の方は、長善館史料館事務室にお気軽にお声かけください。



長善館友の会 新年度会員募集

「長善館友の会」では令和二年度の会員を募集しています。

入会会費は、単年度ごととなっておりますので、現会員の皆様からは、引き続き入会いただきますようお願いいたします。

個人会員は500円・事業所会員は1,000円です。

大勢の皆様方の入会をお待ちしています。

入会手続きは、長善館友の会事務局まで。

（電話〇二五六一九三一五四〇〇）

- 一般印刷 ●名刺・ハガキ・封筒 ●書籍・刊行物
- ステッカー ●のぼり ●看板 ●カッティングシート

真滝プリント
SHINTAKI

〒959-0242 新潟県燕市吉田大保町 2-13
TEL. 0256-92-7820
FAX. 0256-87-1753
E-mail: info@shintaki.net

編集後記



長善館友の会会報第三号をお届けします。

今年度も総会・講演会・収蔵資料解説学習会・視察研修会等を実施し、多くの会員の皆様から参加していただきました。その内容と参加者の声を掲載いたしましたのでご覧ください。

なお、二回目の収蔵資料解説学習会は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、やむなく中止させていただきました。

来年度も企画展示・収蔵資料解説学習会・視察研修の内容を充実させ、多くの皆様の参加をお待ちしています。

発行 長善館友の会

事務局 燕市長善館史料館内

〒959-0242 燕市

新潟県燕市粟生津九七番地

電話 〇二五六一九三一五四〇〇